資料３－３

令和５年度（2023年度）スポーツ振興関連事業の概要
（スポーツ振興課）

１　○スポーツをする・みる・ささえる促進事業費

概　　要：北海道スポーツ推進条例を契機として、スポーツに参加する多様な主体のスポーツの「する」「みる」「ささえる」を促進するための各種施策を展開する。

事業内容　（単位：千円）

区　分		予算額	R4（2022）実績
障がい者スポーツの推進	障がい者スポーツ団体への講習会、体験会、強化練習等の活動経費支援	1,000	補助団体：10団体
スポーツに親しむ環境整備	総合型地域スポーツクラブによる情報交換会の開催	115	情報交換会　1回
スポーツ観戦等の機運醸成	本道ゆかりのスポーツ選手等を講師に迎えた体験型教室の開催 保護者を対象とした講習会の開催やハンドブックの配布	2,900	体験型教室　7回 参加者数 364名

担当課	スポーツ振興課	Ｒ５(2023）予算額	4,015 千円	Ｒ４(2022）予算額	10,000千円

２　○スポーツ王国北海道事業費

事業内容　（単位：千円）

区　分		予算額	R4(2022)実績
スポーツ機会向上	指導者派遣事業 　市町村主催のスポーツ教室等への指導者への派遣等	526	・指導者派遣　７回
発掘・育成	有望選手発掘・育成事業 　中高生を対象に有望選手を発掘・育成（ｶｰﾘﾝｸﾞ、ｽｹﾙﾄﾝ、ﾊﾞｲｱｽﾛﾝ） ・セレクションの開催 ・育成プログラムの実施（地域別プログラム、集合プログラム）	6,165	・ｾﾚｸｼｮﾝの実施　15名 ・地域別プログラム 競技技術育成　週3回 ﾌｨｼﾞｶﾙ育成　月3回 合宿　延べ3回 ・集合プログラム　延べ4回

担当課	スポーツ振興課	Ｒ５(2023）予算額	6,691 千円	Ｒ４(2022）予算額	7,376 千円

３　○北海道立総合体育センター大型備品更新事業費

概　　要：Ｒ５開催予定の全国高等学校総合体育大会の競技規格への適合などのための北海道立総合体育センターの大型備品更新に要する経費

事業内容　（単位：千円）

区分	事　業　内　容	予算額	Ｒ４(2022)実績
大型備品更新事業費	体操（ゆか１面）の更新	16,203	・柔道畳680枚 ・移動式バスケットゴール４台

担当課	スポーツ振興課	Ｒ５(2023）予算額	16,203 千円	Ｒ４(2022)予算額	43,675 千円

４　○北海道パラスポーツ連携促進事業費

概　　要：健常者スポーツと障がい者スポーツの連携を促進、障がい者スポーツの裾野拡大と競技力向上に取り組むとともに、地域への定着を目指す。

事業内容　（単位：千円）

区　分	内　　容	予算額	R4(2022)実績
ﾊﾟﾗｱｽﾘｰﾄ発掘ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ（toto助成金）	・実行委員会（年２回） ・タレントスカウティング(特別支援学校等で発掘活動) ・測定会・体験会の開催（１回） ・発掘選手を対象にセミナー開催（年２回）	4,227	・パラスポーツ体験会の開催　6回 ・パラスポーツコーディネーターの配置 ・道内の障がい者スポーツ団体・チーム等を調査し、道HPで紹介
ﾊﾟﾗｽﾎﾟｽｸｰﾙ連携ﾓﾃﾞﾙ事業（スポーツ庁委託事業）	・実行委員会（年2回） ・地域人材（指導者・ボランティア）の育成 ・冬季障がい者スポーツイベントの開催	4,000	※不採択

担当課	スポーツ振興課	Ｒ５(2023）予算額	8,227 千円	Ｒ４(2022)予算額	6,808 千円

５　〇障がい者スポーツ振興費

概　　要：　障がい者の体力維持や残存能力の向上を図り、スポーツ大会等を通じて道民の障がい者に対する理解を深めるため、大会の開催経費、指導者養成や普及促進事業等に対し助成を行う。((公財) 北海道障がい者スポーツ協会補助)

事業内容　　（単位：千円）

区　分	事　業　名	概　要　等	予算額	R4(2022)実績
大会開催事業	北海道障がい者スポーツ大会	・競　技：6競技（陸上競技、サッカー、ソフトボール、フットソフトボール、バスケットボール、車いすバスケットボール）	3,284	開催地：網走市他 参加選手：183名 陸上競技、車いすバスケットボール以外は新型コロナウイルス感染症の影響で参加者が集まらなかったため、中止
	北海道障がい者冬季スポーツ大会	・競　技：2競技(大回転、距離)	519	中止（新型コロナウィルス感染症の影響)
	はまなす車いすマラソン	・競　技：2競技 （ハーフマラソン、ショートレース（１km、２km))	5,155	開催地：札幌市 参加選手：98名
障がい者ｽﾎﾟｰﾂ指導者養成事業	障がい者スポーツ指導員養成講習	・地域で障がい者ｽﾎﾟｰﾂの普及、組織の育成、実技指導にあたる者の養成	132	受講者数17名
	競技指導者研修事業	・障がい者スポーツの大会審判や補助協力を行う競技団体に対し競技規則、実技講習会を実施	1,505	受講者数29名
障がい者ｽﾎﾟｰﾂ普及促進事業	知的障がい者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の知的障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	120	延べ273名参加
	身体障がい者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の身体障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	98	
	精神障がい者スポーツ教室	・スポーツに親しむ機会の少ない在宅の精神障がい者を対象にスポーツ教室を開催し、実技、ルール等を指導	123	
障がい者スポーツ普及振興事業		・障がい者スポーツに関する調査･研究、地方の障がい者スポーツの指導援助など障がい者スポーツの普及振興	195	障がい者ｽﾎﾟｰﾂの普及促進

担当課	スポーツ振興課	Ｒ５(2023) 予算額	11,131千円	Ｒ４(2022)予算額	31,927千円

６　〇全国障害者スポーツ大会派遣事業費

概　　要：(公財)北海道障がい者スポーツ協会が行う全国障害者スポーツ大会への北海道選手団派遣事業費に対する補助金
補助内容：北海道選手団の出場に最低限必要な実費経費（交通費・宿泊費等）を(公財)北海道障がい者スポーツ協会が行う派遣事業への補助金として助成する。

事業内容　　（単位：千円）

区　分	内　容	R4(2022)実績
大会名称	特別全国障害者スポーツ大会	第22回全国障害者スポーツ大会
開催地	鹿児島県	栃木県
開催期間	令和5年(2023年)10月28日～30日（3日間）	令和4年10月29日～31日（3日間）
競技種目	14競技（個人競技）陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング、ボッチャ （団体競技）バスケットボール、車いすバスケットボール、ソフトボール、グランドソフトボール、フットベースボール、バレーボール、サッカー	北海道選手団： 選手59名、スタッフ39名派遣

担当課	スポーツ振興課	Ｒ５(2023) 予算額	6,886 千円	Ｒ４(2022)予算額	22,586 千円

7　〇スポーツ競技力向上推進費補助金

概　　要：（公財）北海道スポーツ協会が実施する選手強化事業等に要する経費に対する補助
事業内容

（単位：千円）

事業名			事業内容	実施規模 R5(2023a)	予算額	R４(2022)実績
指定強化指導者研修会			・実技を中心とした系統的指導法 ・　技術の習得	５０種目 １３０人	555	参加者　４８人
選手強化事業	ジュニア強化合宿	道内合宿	・１年を通じて実施される道内の合宿	５０種目 1,150人	19,256	４１種目　延べ１９４回 参加者　３，４９５人
		道外合宿	・実践力を養うため、対抗試合を取入れた合宿	４４種目 ３３０人		２７種目　延べ４７回 参加者　６６５人
	有望選手活動支援		・経済的に競技活動を継続することが困難な高校生を支援	対象10人 1人あたり20万円		対象７人
競技団体育成事業			・競技力向上推進委員会	２回	41	３回
スポーツ医・科学トータルサポート事業			・合宿地・国体会場等での医科学的指導及びサポート ・スポーツ科学委員会運営（調査研究）	３種目	1,825	１１種目 ｻﾎﾟｰﾄｽﾀｯﾌ１４人

担当課	スポーツ振興課	R５(2023) 予算額	21,677 千円	R４(2022)予算額	65,031 千円

8　〇ジュニアスポーツアスリート強化育成事業費

概　　要：（公財）北海道スポーツ協会が実施するジュニア選手の強化合宿に要する経費に対する補助
事業内容

（単位：千円）

事業名	事業内容	実施規模 R５(2023)	予算額	R４(2022)実績
夏季ジュニアスポーツアスリート強化育成	将来トップ選手として活躍できる可能性のある選手を対象に、各競技団体が行う強化合宿に要する経費を支援	７種目	4,150	(道内合宿5種目　参加者867人 (道外合宿)5種目　参加者127人
冬季ジュニアスポーツアスリート強化育成		７種目	4,058	(道内合宿)10種目参加者1,151人 (道外合宿)4種目　参加者　34人

担当課	スポーツ振興課	R５(2023) 予算額	8,208 千円	R４(2022)予算額	24,626 千円

9　〇スポーツ団体活動費補助金

概　　要：（公財）北海道スポーツ協会が行う本道スポーツの振興と指導者の養成を図るため、事業に補助する。
事業内容

（単位：千円）

事業名	内容	予算額	R４(2022)実績
国民体育大会運営事業	国体予選会事業の一部補助　４１団体	202	北海道予選会 41競技団体
競技団体育成事業	競技団体運営活動費助成　　１４団体	137	助成12団体
スポーツ指導員養成事業	ｽﾎﾟｰﾂ指導者ﾌﾞﾛｯｸ研究会　　３会場	772	177人参加
スポーツ少年団育成事業	スポーツ少年団大会　　１会場 スポーツ少年団・シニアリーダー研修会　１会場	267	書面開催 8名参加

担当課	スポーツ振興課	R５(2023) 予算額	1,378　千円	R４(2022)予算額	4,134　千円

10　〇北海道スポーツ表彰経費

概　　要：スポーツの振興に寄与したもの及びスポーツの優秀な成績を収めた者を「北海道スポーツ賞」として顕彰することにより、スポーツを行うものに名誉を付与しその成績をたたえ、道民のスポーツに対する関心と熱意を喚起・高揚し、もって北海道のスポーツの振興を図る。

過去の受賞者数

区分	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2021)
スポーツの振興に寄与した者	５	５	４	４	５
スポーツの優秀な成績を収めた者(個人)	２６	４	３４	４	１６
スポーツの優秀な成績を収めた者(団体)	－	－	１	－	－
合　計	３１	９	３９	８	２１
特別表彰	－	－	－	－	－
スポーツ奨励賞（H20（2008）新設）	４	３	０	３	１

担当課	スポーツ振興課	R５(2023) 予算額	153 千円	R４(2022)予算額	305 千円

11	○北海道立総合体育センター管理運営費

概　　要：道立総合体育センターの効率的運営を図るため、指定管理者へ負担金を支出する。
［指定管理者：（公財）北海道スポーツ協会］

施設概要等

施設名称	北海道立総合体育センター（開館：平成12(2000年)年2月13日）
所在地	札幌市豊平区豊平５条１１丁目１－１
主な施設	メインアリーナ、サブアリーナ、弓道場、柔道室、剣道室、講堂・視聴覚室、トレーニング室
指定管理者	（公財）北海道スポーツ協会
指定期間	令和4年(2022年)4月1日～令和9年(2027)3月31日（５年間）

担当課	スポーツ振興課	Ｒ５(2023) 予算額	269,621千円	Ｒ４(2022)予算額	240,508千円

12	○北海道立北見体育センター管理運営費

概　　要：道立北見体育センターの効率的運営を図るため、指定管理者へ負担金を支出する。
［指定管理者：（公財）北見市スポーツ協会］

施設概要等

施設名称	北海道立北見体育センター（開館：昭和57年(1982年)6月6日）
所在地	北見市東陵町２７　東陵運動公園内
主な施設	アリーナ、ランニングコース、講堂、研修室、トレーニング室、図書資料室
指定管理者	（公財）北見市スポーツ協会
指定期間	令和4年(2022年)4月1日～令和9年(2027年)3月31日（５年間）

担当課	スポーツ振興課	Ｒ５(2023) 予算額	48,649千円	Ｒ４(2022)予算額	49,917千円

13	○第78回国民スポーツ大会冬期大会開催費補助金

目　　的：令和６年１月から開催される第78回国民スポーツ大会冬季大会の開催費に対する補助

大会概要

区分	内容
大会名	○第78回国民スポーツ大会冬季大会（スケート、アイスホッケー競技会）
主催	○（公財）日本スポーツ協会、文部科学省、北海道、苫小牧市
開催期間	令和６年１月27日～２月３日（８日間）：スケート・アイスホッケー競技会（苫小牧市）
参加人数	○47都道府県選手、役員等約4，000人
競技種目	スケート、アイスホッケー競技会：４種目（ｽﾋﾟｰﾄﾞｽｹｰﾄ、ﾌｨｷﾞｭｱｽｹｰﾄ、ｼｮｰﾄﾄﾗｯｸ、ｱｲｽﾎｯｹｰ）

担当課	スポーツ振興課	Ｒ５(2023) 予算額	956千円	Ｒ４(2022)予算額	－

令和５年度（2023年度）スポーツ振興関連事業の概要（総合政策部関連）

14	○北海道未来人財応援事業費

概　　要：本道の将来を担う人材の育成を図るため、若者の海外留学や、スポーツ指導者、芸術家、職人を目指して海外で資質向上に取り組む挑戦を、「ほっかいどう未来チャレンジ基金」等により支援します。

事業の概要
［スポーツコースの概要］　※他に学生留学、文化芸術、未来の匠の３コースがあります。

１　主な支援対象
・年齢　北海道在住の18歳から39歳の方
・対象　3～12ヶ月の海外研修
・人数　若干名

２　主な支援内容

滞在費　　（定額）	12万円/月又は16万円/月（派遣先地域により変動）
往復渡航費（定額）	10万円又は20万円（派遣先地域により変動）
授業料、研修費、入学金等及び大会参加費・機材運搬費	上限30万円

３　令和４年度（2022年度）実績
・スポーツコース　１名

４　その他
令和５年度（2023年度）の募集要項等詳細は、道ホームページに掲載。
※予算額は、スポーツコースのほか、文化芸術コース、未来の匠コースを含む額です。

担当課	地域政策課	Ｒ５(2023) 予算額	9,000　千円	Ｒ４(2022)予算額	9,000　千円

15	○地域づくり総合交付金（地域づくり推進事業）

【概要】
地域の創意と主体性に基づく地域の特性や優位性を生かした取組の促進を図るため、市町村等が地域課題の解決や地域活性化を目的に取り組む各種事業に対して支援する。

【事業概要】

(1) ハード系事業

交付対象事業	・スポーツ振興事業 （屋内スポーツ施設整備事業､屋外スポーツ施設整備事業､総合体育館整備事業）など※		
交付対象者 交付限度額	交付対象者	上限額	下限額
	・市町村	１億円	500万円
	・一部事務組合、広域連合	２億円	

(2) ソフト系事業

交付対象事業	・スポーツ振興事業(スポーツ振興事業）など※		
交付対象者 交付限度額	交付対象者	上限額	下限額
	・市町村	500万円	50万円
	・一部事務組合、広域連合、複数市町村で構成する協議会等	1,000万円	
	・総合振興局長･振興局長が適当と認める者	300万円	10万円

担当課	地域政策課	Ｒ５（2023）予算額	415,000千円 （地域づくり推進事業分）	Ｒ４(2022）予額	4,180,000千円 （地域づくり推進事業分）

令和５年度（2023年度）スポーツ振興関連事業の概要（保健福祉部関連）

16	○明るい長寿社会づくり推進事業費

概　　要：介護予防の観点から、高齢者のスポーツ・各種活動の推進組織づくり、社会参加活動の振興のための指導者等養成、仲間づくり支援、老人週間事業を総合的に実施する。

事業内容　　（単位：千円）

項　　目	内　　容	Ｒ４(2022)実績
高齢者のスポーツ・健康づくり事業	・全道高齢者スポーツ等大会の開催 ・全国健康福祉祭への選手等の派遣	・10種目実施、参加者588人 ・18種目派遣、派遣者数107名
地域活動等推進組織づくり事業	地域活動を推進するための組織づくり	・自主活動８事業への支援、サイト運営(78団体掲載)
高齢者の社会活動の振興のための指導者育成事業	高齢指導者（シニアリーダー）の育成	・63名の指導者登録 ・ﾘｰﾌﾚｯﾄ作成、配布
老人週間事業	・全道高齢者作品展の開催 ・老人週間啓発事業（パネル展の開催）	・来場者延べ478名 ・来場者延べ80名

担当課	高齢者保健福祉課	Ｒ５(2023) 予算額	7,126千円	Ｒ４(2022)予算額	25,162千円

令和５年度（2023年度）スポーツ振興関連事業の概要（経済部関連）

17	○北海道アウトドア活動振興環境整備事業費

【概要】
　アウトドア活動の振興を図るため、北海道アウトドア資格制度の運営や、アウトドアガイド・事業者のほか、地域に根ざした人材の育成など、アウトドア活動を支える基盤づくりを推進する。

【事業内容】
○ アウトドアガイド資格等の認定登録・管理
　・ 資格認定証書等の作成・交付
　・ 試験実施状況等の確認
○ 資格制度の運営管理
　・ 資格制度推進委員会の開催
○ 資格制度の普及ＰＲ

【令和４年度（2022年度）実績】
・資格認定等

区　分	件　数
アウトドアガイド資格新規認定	５３件
アウトドアガイド資格更新認定	７２件
アウトドアガイド検定合格認定	１７件
アウトドア講習修了認定	１２６件

担当課	観光振興課	Ｒ５(2023) 予算額	368　千円	Ｒ４(2022)予算	368　千円

令和５年度（2023年度）スポーツ振興関連事業の概要（教育庁関連）

18	○学校スポーツ振興事業費

概　　要：学校スポーツ活動の普及促進を図るため、運動部活動における各種大会等に参加するための教員引率旅費を措置するとともに、全道大会の開催費について補助を行う。

事業内容　（単位：千円）

区分			事業内容	予算額	Ｒ４(2022)実績
全国大会	生徒引率旅費	中体連	・参加生徒の引率教員旅費	25,952	全国大会引率125校183人
		高体連（総合体育大会）		10,416	全国大会引率51校96人
		高体連（選抜等大会）		4,497	全国大会引率24校45人
		定体連		1,283	全国大会引率8校16人
		全盲体連		308	全国大会引率1校5人
地区大会	生徒引率旅費	中体連	・参加生徒の引率教員旅費	9,583	
全道大会	開催費	中体連	・全道大会開催費の補助	470	全道大会開催費補助470千円
		高体連		582	全道大会開催費補助582千円
		定体連		100	全道大会開催費補助100千円

担当課	健康・体育課	Ｒ５(2023)予算額	16,870千円	Ｒ４(2022)予算額	51,820千円

19	○学校体育推進事業費

概　　要：中学校の武道必修化を踏まえ、安全かつ効果的な授業の充実を図るため、外部指導者の派遣等を行う。

事業概要等

区分	目的	事業内容	Ｒ４(2022)実績
武道等指導推進事業～国委託事業	・平成24年度（2012年度）から武道及びダンスが必修となったことから安全管理、指導体制の充実を図る ・武道授業における複数種目の実践など指導の柔軟化の実践研究を通した武道指導の充実 ・中学校における武道等の授業を安全に行うために、外部指導者等を派遣し、安全で効果的な授業の充実を図る	・武道振興協議会及び武道講習会の実施 ・武道指導推進モデル校の指定 ・町道場等から学校へ外部指導者派遣	・武道振興協議会の開催 ・武道講習会の開催 ・地域の指導者の派遣　柔道等３校延べ７人
インクルーシブ体育活動実践研究事業～国委託事業	・通常学級の体育授業において障害のある児童生徒がと共に学べる学習プログラムの開発 ・子に応じた指導計画・指導内容・指導方法の工夫に関する実践研究	・有識者会議の実施 ・研究指定校の指定 ・学習プログラム、指導方法等の実践研究	ー
幼児期からの運動習慣形成プロジェクト～国委託事業	・家庭や学校をはじめ、地域において、未就学の幼児から小学校の児童までを対象に、その発達段階に応じた運動習慣の形成	・有識者会議の実施 ・研究指定校の指定 ・運動遊びプログラムの作成、実施	ー

担当課	健康・体育課	Ｒ５(2023)予算額	6,909千円	Ｒ４(2022)予算額	11,617千円

20	○学校・家庭・地域の連携協力推進事業費（放課後子供教室）

概　　要：放課後や週末等に全ての子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域住民の参画を得て、学習や体験活動の機会を提供することにより、子どもたちの豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。

事業内容　（単位：千円）

実施主体	項目	事業内容等	補助率	R4(2022)実績
市町村	放課後子供教室の実施	全ての子どもを対象に活動拠点を提供	国1/3以内 道1/3以内 市町村 1/3以上	実施市町村・教室数（政令都市、中核市除く） ・65市町村 150教室 対象学校 （小学校163校 中学校 17校 義務教育学校 １校）
	放課後子供教室の備品整備	開設備品(ｶｰﾍﾟｯﾄ、ﾃﾚﾋﾞ、机ｲｽ等)の整備		
	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰの配置	学校、保護者、その他関係機関との調整 (児童ｸﾗﾌﾞとの調整)		
	運営委員会の実施	事業計画、安全管理方策、実施後の検証・評価等 (児童ｸﾗﾌﾞ含む)(構成員：行政、教職員、児童ｸﾗﾌﾞ関係者、PTA、地域住民等)		
北海道	推進委員会の開催	放課後対策の総合的な在り方等を検討 (構成員：道教委、保福部、教職員、学識経験者等)	国 1/3 道 2/3	年12回開催 道内12会場 参加者1,570名
	指導者研修の実施	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ等への研修の実施		

担当課	社会教育課	Ｒ５(2023)予算額	43,312千円	Ｒ４(2022)予算額	48,124千円

21	○学校部活動の総合的な支援体制構築事業費

概　　要：教員の負担軽減及び部活動指導体制の充実を図るため、学校部活動に地域の外部人材などの部活動指導員を配置するとともに、指導方法の研修などを実施する。

事業概要　（単位：千円）

区　分	概　要	予算額	Ｒ４（2022）実績
部活動指導員の任用	・道立学校に部活動指導員を配置するとともに、中学校に部活動指導員を配置する市町村教委に対し財政支援等を実施	道立学校：25,372 中 学 校：17,623	部活動指導員配置実績 ・道立学校：130校 230部活動 230人 ・中 学 校：16市町 43校 62部活動 63人
指導の充実等に関する研修	・指導員等に対して、指導方法や練習時間の設定、体罰の禁止などの研修を実施	520	
専門家による意見交換	・校長会や道スポーツ協会などの関係者により、指導員の在り方など、意見交換の場を設定	159	

担当課	教職員課	Ｒ５(2023)予算額	43,674千円	Ｒ４(2022)予算額	44,109千円

22	○部活動の地域移行を活かしたスポーツ・文化のまちづくり協働推進事業費

【概要】市町村、スポーツ・文化協会、民間企業等と連携し、イベントの開催等を通じて、部活動に代わるスポーツ・文化環境の整備に向けた実証を行う。

【事業概要】

区　分	対　象	事業内容
部活動地域移行モデル（スポーツ庁委託事業）	市町村、スポーツ・文化協会、民間企業等	○ 運動・スポーツ等の体験イベントを開催し、民間企業との連携や指導者の確保等の実証を行う。 ○ 人材バンクの周知等により指導者の確保に取り組む。 ○ 成果報告会を開催し、全道へ成果を普及し、地域移行に向けた市町村の取組を促進する。
検討会議	○ 実証事業の成果を踏まえ、市町村、スポーツ・文化協会、民間企業等が情報共有しながら地域移行に向けた課題解決の方向性を検討する。	

【Ｒ４年度実績】

区　分	参加者数・件数
運動・スポーツ体験イベント実施	実証自治体３市町で全８回６種目　延392名参加
指導者発掘に係るアンケート調査	旭川市を中心に実施　109名回答
民間企業等との連携体制構築に係るアンケート調査	経産省産業創出プラン会員　13社回答
事業成果普及のための報告会	教育関係者、学校関係者　約30名出席

担当課	教職員課	Ｒ５(2023)予算額	12,510千円	Ｒ４(2022)予算額	12,510千円

23	○令和５年度全国高等学校総合体育大会開催費

【概要】
　全国高等学校体育連盟等が主催となり、教育活動の一環として高等学校（中等教育学校後期課程を含む）生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、高校生活動を含め生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成するため、令和５年（2023年）全国高等学校総合体育大会（インターハイ）開催に向けて準備を進める。
【事業概要】

区　分	内　　容	Ｒ４（2022）実績
実行委員会	○ 実行委員会の開催 ○ 全国高体連全体会議、高校総体中央委員会の出席 ○ 主管課長協議会、後催県引継会等の開催及び運営	・北海道実行委員会総会開催（R4.6、R5.3） ・四国大会視察
専門部会	○ 記録センター設置・運営 ○ 総合開会式の運営 ○ 大会開催の100日前イベントの開催	・総合開会式に実施する生徒による演技の合同練習実施 ・大会開催300日前イベント実施（R4.11.6）
その他	○ 御交流会の運営 ○ 競技種目別大会を開催する会場地へ担当教員を派遣 ○ 会場地へ派遣する担当教員の代替非常勤講師を任用	・会場地担当教員派遣（15市町34名派遣） ・非常勤講師任用（27校39名任用）

担当課	高校総体推進課	Ｒ５(2023)予算額	720,079千円	Ｒ４(2022)予算額	152,000千円

24	○部活動の地域移行支援事業費

【概要】
中学校における休日の部活動の地域移行に向け、地域におけるスポーツ団体等の整備、指導者確保等の取組に関する実践研究を実施する。

【事業概要】

区　分	項　目	事　業　内　容
地域スポーツクラブ活動体制整備事業（スポーツ庁委託事業）	運動部活動の地域移行に向けた実証事業	○市町村にコーディネーター（アドバイザー）を派遣し、地域移行に向けた検討を促進 ○実証地域における地域クラブ活動の運営団体の整備充実、指導者配置支援、参加費用負担支援等の実践研究

【R4年度実績】
なし

担当課	教職員課	Ｒ５(2023)予算額	135,683千円	Ｒ４(2022)予算額	ー

25	○高校生心身強化セミナー事業費

【概要】
スポーツを頑張るすべての高校生のために、自宅等で取組可能な「心身の強化」に関するセミナーを開催することにより、部活動への意欲向上や個人の能力向上を図る

【事業概要】

区　分	目　的	事　業　内　容	Ｒ４(2022)実績
セミナー開催	・高校生が自宅等で取組可能な「心身の強化」に関するノウハウの提供	・道内の高校生に対し、身体のケア、身体づくり及び精神面強化に関するセミナーを各管内で開催 ・不参加生徒のためセミナー内容を動画で公開	・セミナーの開催14カ所 ・参加者936人

担当課	健康・体育課	Ｒ５(2023)予算額	5,764千円	Ｒ４(2022)予算額（２定計上）	5,038千円